

令和2年度

道民・利用者意見把握調査

調査結果報告書

令和3年3月



地方独立行政法人

北海道立総合研究機構

## 目 次

◆調査の趣旨、調査の種類・項目・対象者、回答状況	2
1. 道民意見把握調査	4
2. 利用者意見把握調査【共同研究・受託研究】	10
3. 利用者意見把握調査【技術支援制度】	14
4. 利用者意見把握調査【知的財産】	17

## ◆調査の趣旨

本調査は、道総研の第3期中期計画・年度計画（令和2年度）における「第2-3-(2) 道民意見の把握及び業務運営の改善」を踏まえ、道民の皆様及び道総研の研究、技術支援、知的財産などの各種制度を利用された方から幅広く意見を聴取し、その結果を業務の実施方法や運営の改善などに反映させることを目的に実施したものです。

## ◆調査の種類・項目・対象者

### (1) 道民意見把握調査

	イベント参加者	市町村、関係団体
対象者	道総研が実施したイベントに参加された方。	道内市町村、各種関係団体。
調査方法	アンケート方式により実施した。	
実施期間	令和元年10月～令和2年10月	令和2年3月～4月

### (2) 利用者意見把握調査

	共同研究・受託研究	技術支援	知的財産
対象者	令和元年度に北海道立総合研究機構（道総研）と共同研究・受託研究を実施した大学、企業、団体等。 （令和2年度に継続して研究を行っている機関を含む）	令和2年度に北海道立総合研究機構（道総研）の技術支援制度（7項目）を利用された大学、企業、団体等	調査開始月末時点において、特許等実施契約を締結している企業等。
調査方法	Web アンケート方式もしくは直接送付により実施した。		
実施期間	令和2年4～6月	令和2年4月～12月	令和2年12月～3年1月

### ※【各調査項目の説明】

#### ○共同研究

技術の向上や製品開発等を希望する企業等からの依頼により、道総研と企業等とが知識・技術・ノウハウ等を持ち寄り、共同で研究を行う制度

#### ○受託研究

道以外の行政機関や企業、団体等の外部機関からの依頼により、契約又は寄附により実施する研究

#### ○技術支援（対象：技術相談、技術指導、設備使用、技術開発派遣指導、課題対応型支援、研修生の受入、視察・見学）

地域や企業等の製品・研究開発の支援や、企業等の技術者や地域産業の担い手、大学等の学生の育成支援を目的として、これまでの道総研の研究成果や知見、公知の情報等を用いて、道総研の施設内または施設外において、技術的な問題の解決に向け指導・支援する制度。

#### ○知的財産

道総研が保有する特許や実用新案等を利用する制度のこと。

## ◆回答状況

### (1) 道民意見把握調査

調査対象	回答数
道民向けイベント参加者	48
企業向けイベント参加者	146
市町村	164
関係団体	37
合計	395

※道民向けイベント

公開デー、道民向けセミナー等

※企業向けイベント

成果発表会、企業向けセミナー等

### (2) 利用者意見把握調査

調査項目	配布数	回答数	回答率(%)
共同研究・受託研究	46	40	87.0
技術支援	—	42	—
知的財産	17	12	70.6

※技術支援のアンケート配布数は未集計

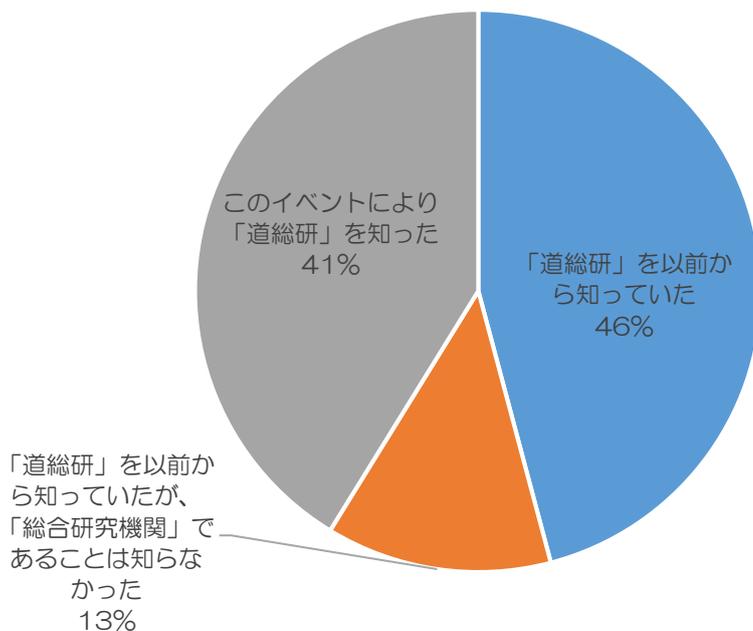
## 1. 道民意見把握調査

【問1 「道総研」は、農業・水産業・林業・工業・食品産業・環境・地質・建築の各分野に関する研究や技術支援等を行う 22 の道立試験場等を統合して発足した「総合研究機関」です。

「道総研」をご存知ですか。】

〔道民・企業向けイベント参加者〕

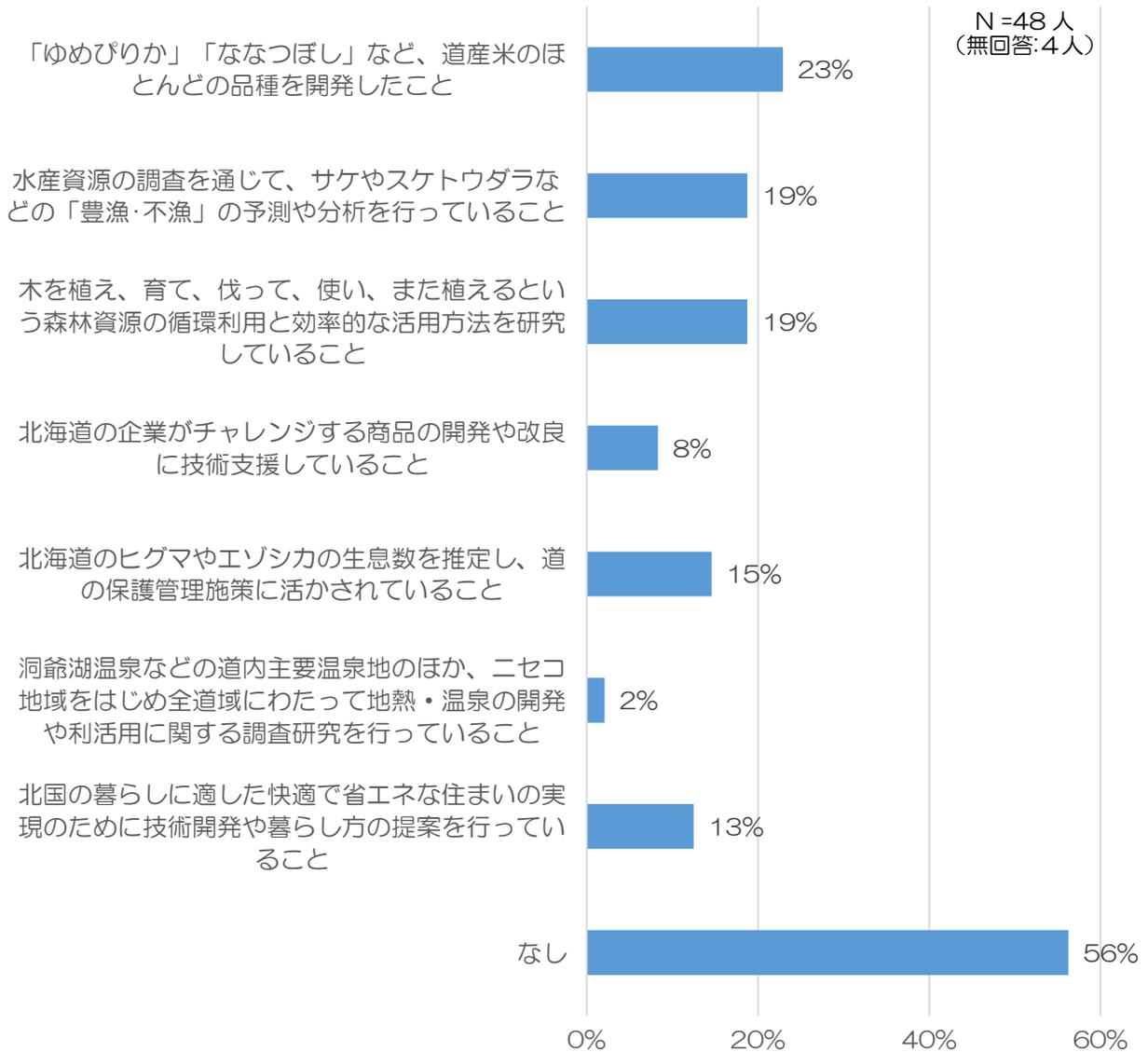
N = 194 人



- 道総研が総合研究機関であることの認知度（『道総研』を以前から知っていた」と回答した人の割合）は、46%でした。
- 道総研の認知度（『道総研』を以前から知っていた」及び『道総研』は知っていたが、『総合研究機関』であることは知らなかった」と回答した人の割合）は、59%でした。

【問2 「道総研」の次の取組のうち、ご存知のものはありますか。(複数回答可)】

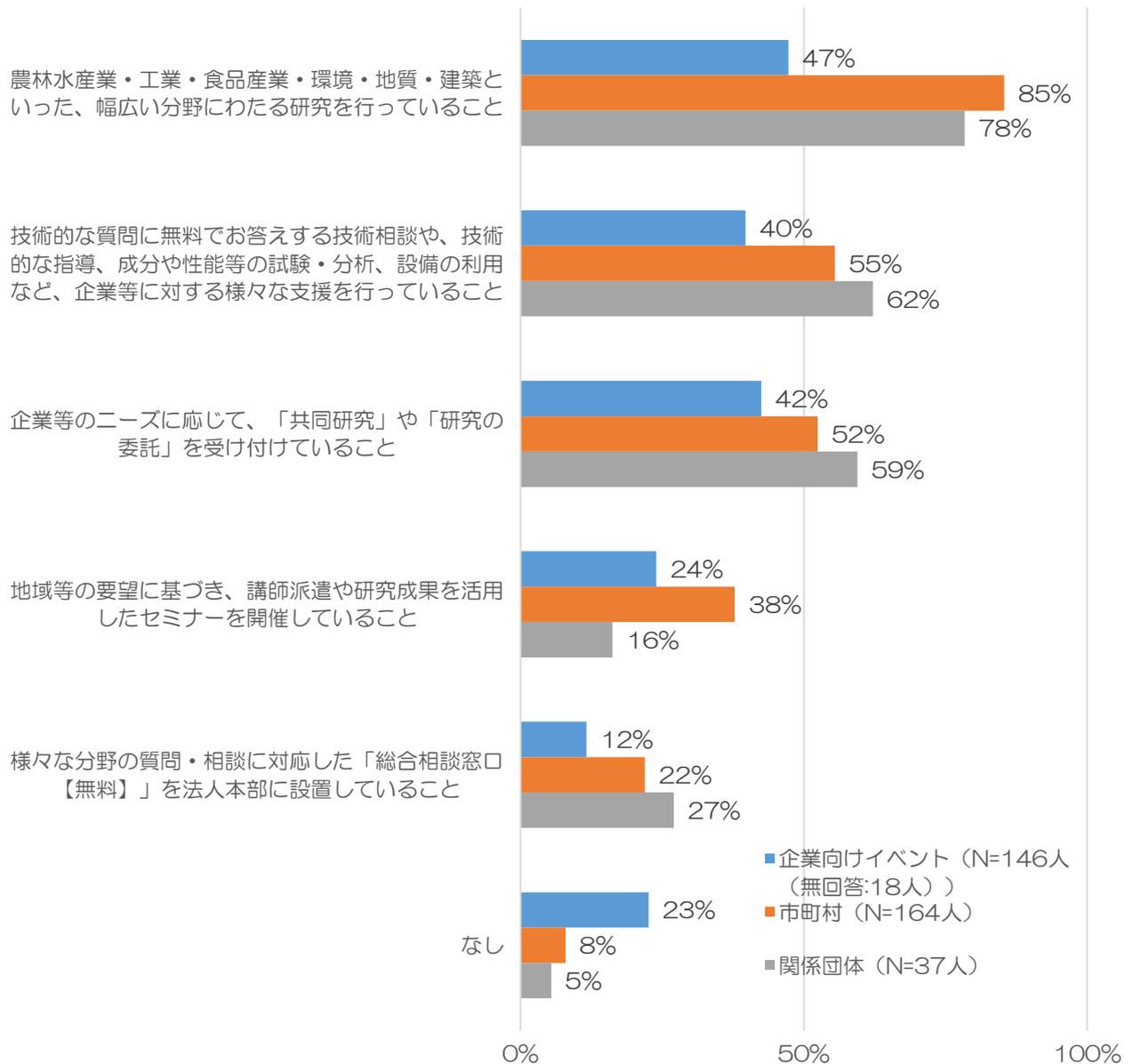
〔道民向けイベント参加者〕



- 最も認知度が高い取組は、「道産米の品種開発」で、23%でした。
- 最も認知度が低い取組は、「地熱・温泉の開発及び調査研究」で、2%でした。

【問3 「道総研」の次の取組のうち、ご存知のものはありますか。(複数回答可)】

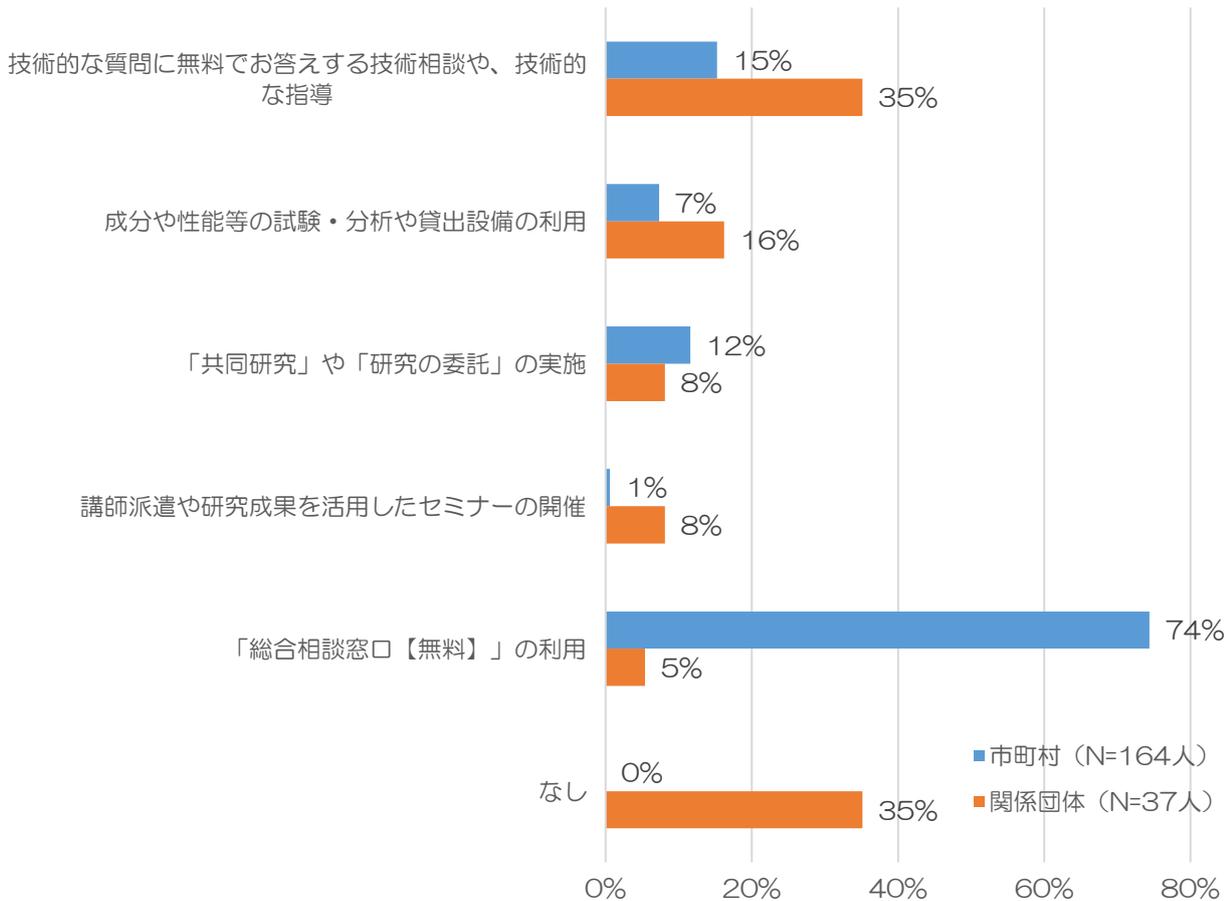
〔企業向けイベント参加者、市町村・関係団体〕



- 最も認知度が高い取組は、「幅広い分野にわたる研究」で、企業向けイベント来場者が 47%、市町村が 85%、関係団体が 78%でした。
- 最も認知度が低い取組は、「総合相談窓口」で、企業向けイベント来場者 12%、市町村 22%、関係団体は「セミナーを開催していること」で 16%でした。

【問4 「道総研」の次の取組のうち、活用したことがあるものはありますか。(複数回答可)】

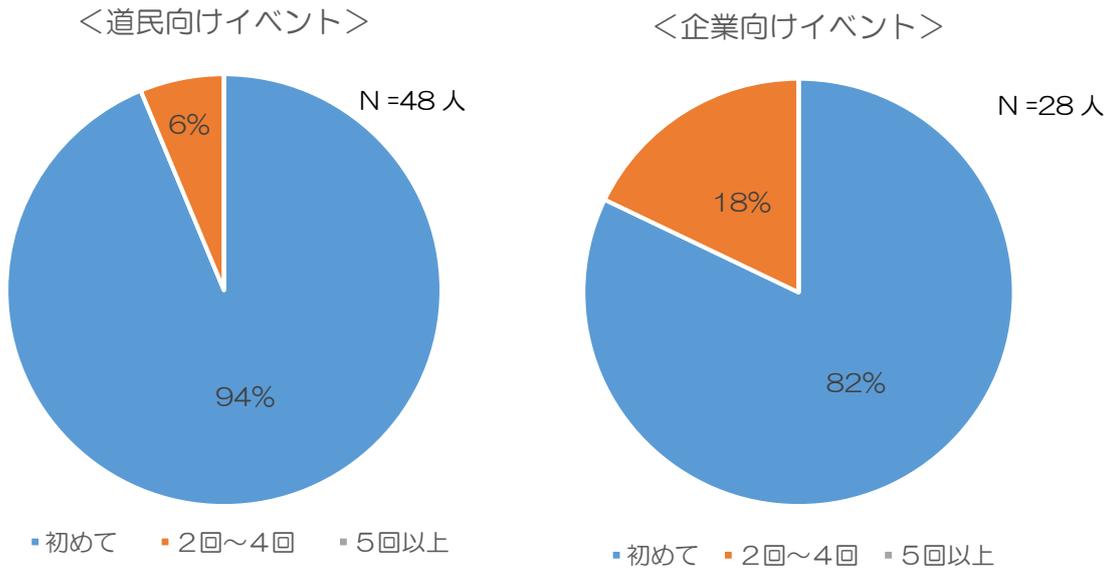
〔市町村・関係団体〕



- 最も活用したことがある取組は、市町村が「『総合相談窓口【無料】』の利用」で74%、関係団体は「技術的な質問に無料でお答えする技術相談や技術的な指導」で35%でした。
- 最も活用したことがない取組は、市町村が「講師派遣や研究成果を活かしたセミナーの開催」で1%、関係団体は「『総合相談窓口【無料】』の利用」で5%でした。

【問5-1 道総研のイベントに参加するのは、何回目ですか。】

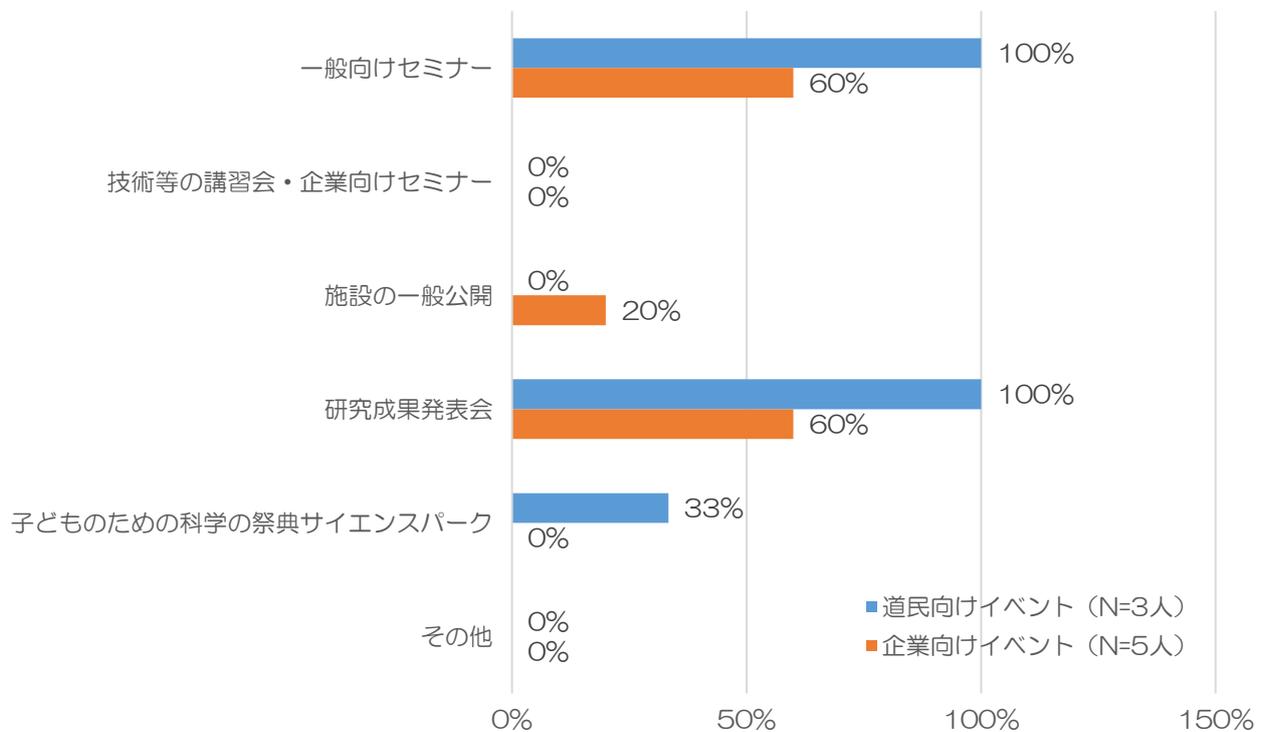
〔道民・企業向けイベント参加者〕



- 各イベントで初めて参加する方が多く、道民向けイベントでは 94%、企業向けイベントでは 82%でした。

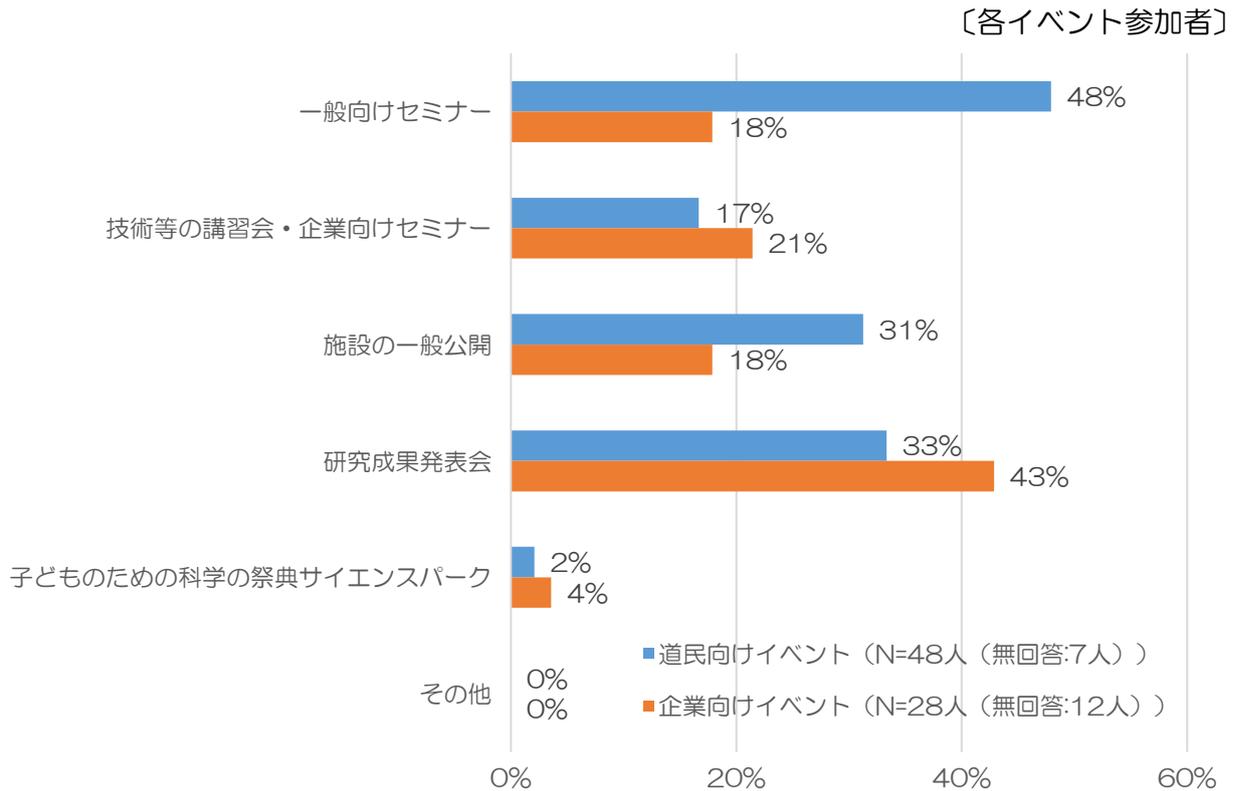
【問5-2 過去に参加したイベントはどれですか。(複数回答可)】

〔道民・企業向けイベント参加者〕



- 過去に参加したことのあるイベントについて、道民向けイベントでは「一般向けセミナー」及び「研究成果発表会」が 100%、企業向けイベントでは「一般向けセミナー」及び「研究成果発表会」が 60%でした。

【問6 どのようなイベントに参加してみたいですか。(複数回答可)】



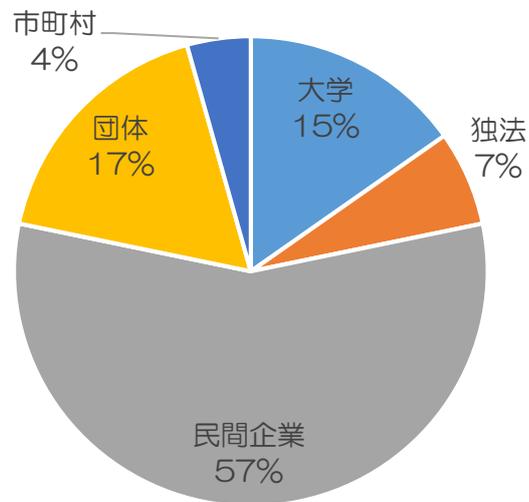
- 「参加してみたい」とした方が最も多いイベントは、道民向けイベントでは「一般向けセミナー」が48%、企業向けイベントでは「研究成果発表会」が43%でした。

<参加してみたい理由等(抜粋)>

一般向けセミナー	
道民向け	どのような取組をしているか知りたいから
	もっと詳しく知り、その上で何か地域に還元したい
	エゾシカの分布などについて知りたい
施設の一般公開	
道民向け	施設を見学することで、身近に感じることができるから
	座学で耳から入る以上のものが得られる様に思います
	町内会、市民の方に防災に興味を持ってもらえるきっかけ(体験等)になりそうだから
研究成果発表会	
道民向け	様々な分野の最先端の情報を聞いてみたいから
	どのような仕事しているのかわからなかったので、興味ある研究の成果について機会があったら参加したい
	取り組みを理解できるから

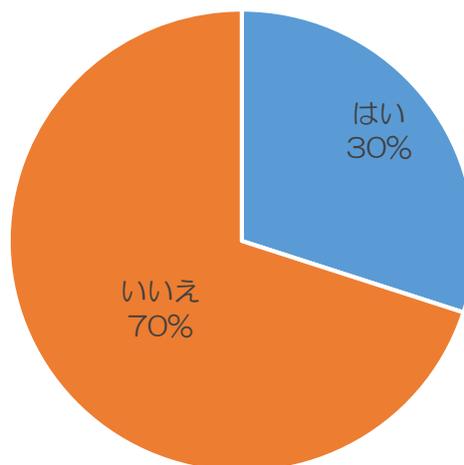
## 2. 利用者意見把握調査（共同研究・受託研究）

【回答者属性】



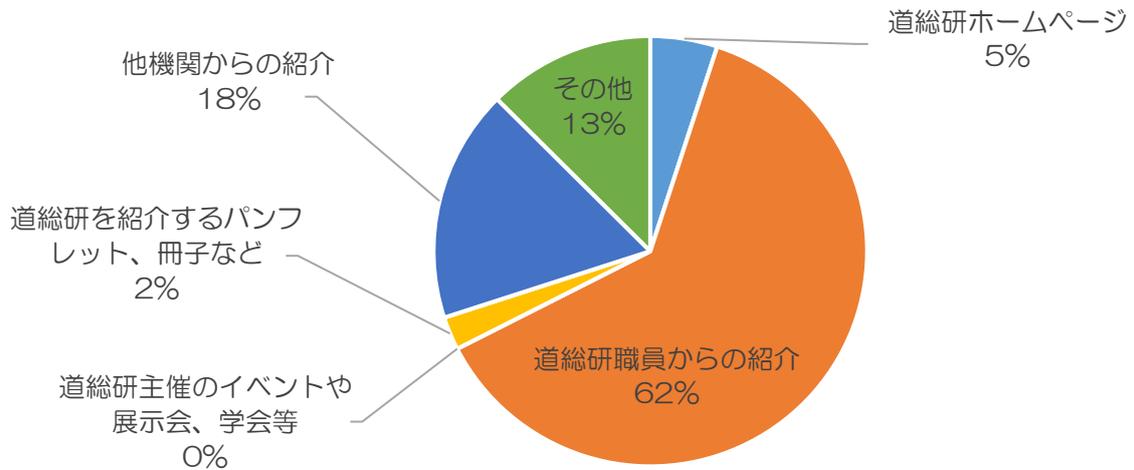
- 「民間企業」が57%（26機関）であった。
- 次いで、協議会、工業会等の「団体」が17%（8機関）、「大学」が15%（7機関）であった。

【問1 共同研究・受託研究を行ったのは初めてですか？】



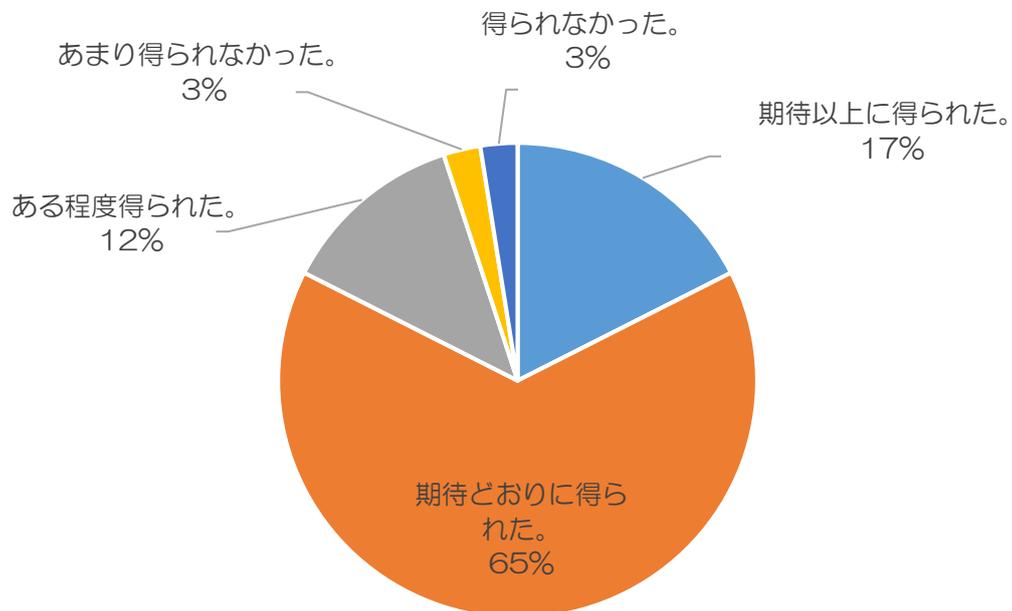
- 過去に共同研究・受託研究を行ったことがある、「いいえ」が70%（28機関）であった。

【問2 道総研が共同研究・受託研究を受け入れていることを知ったきっかけは何でしたか？】



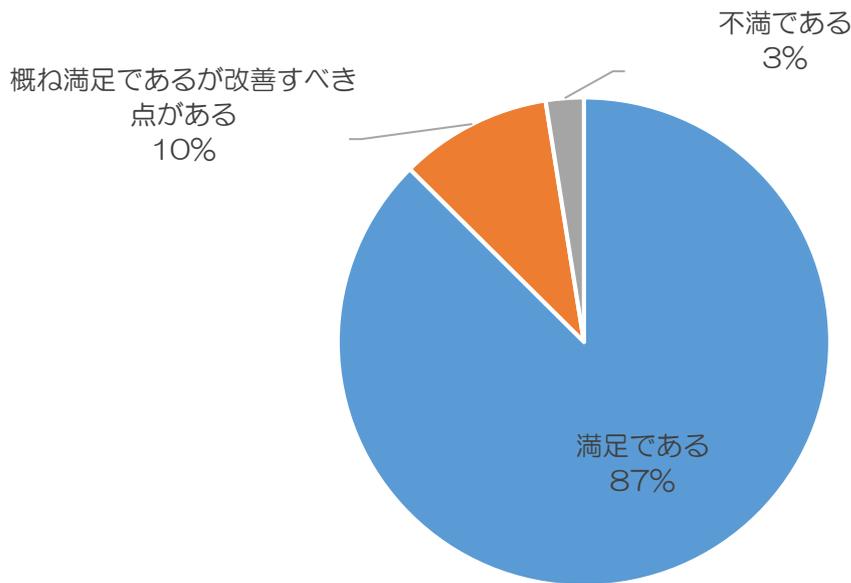
- 「道総研職員からの紹介」が62%（25機関）であった。
- 次いで、「他機関からの紹介」が18%（7機関）、「道総研ホームページ」が5%（2機関）であった。

【問3 今回の共同研究・受託研究で期待した成果が得られましたか？】



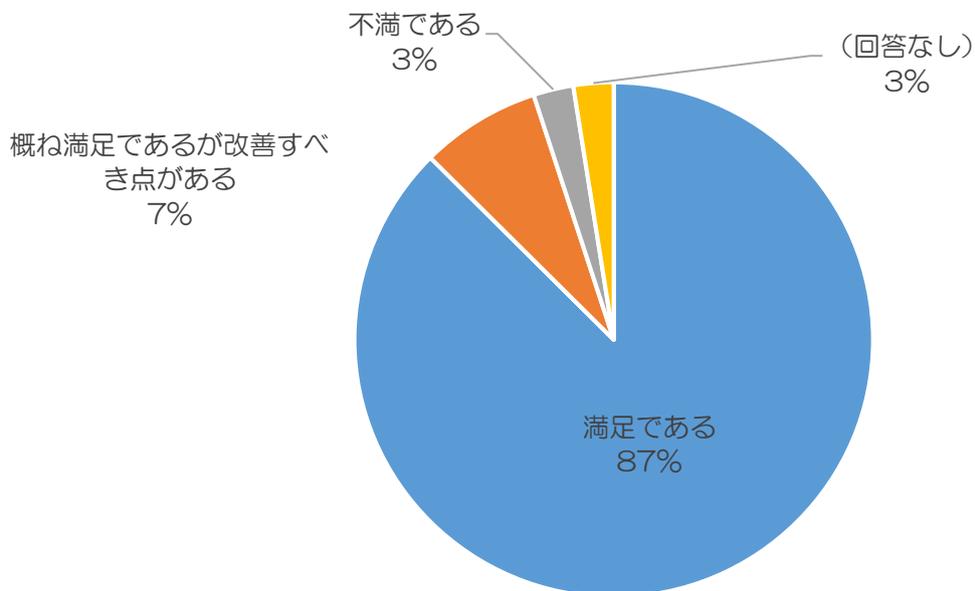
- 「期待どおりに成果が得られた」が65%（26機関）、「期待以上に成果が得られた」が17%（7機関）であり、あわせて82%（33機関）であった。
- 「ある程度得られた」が12%（5機関）であった。
- 「あまり得られなかった」が3%（1機関）であった。
- 「得られなかった」が3%（1機関）であった。

【問4 共同研究・受託研究に関する契約事務（事前打合せ～締結）はいかがでしたか？】



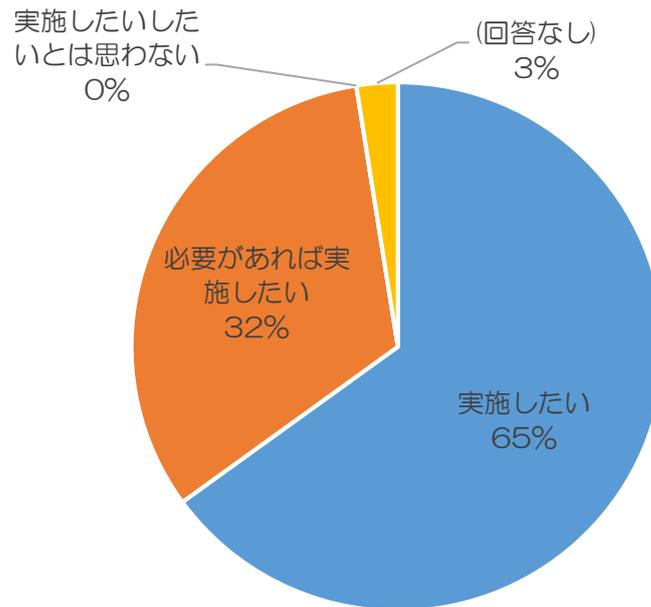
- 「満足である」が87%（35機関）であった。
- 「概ね満足であるが改善すべき点がある」が10%（4機関）であった。
- 「不満である」が3%（1機関）であった。

【問5 共同研究・受託研究における打合せ・進捗状況報告・成果報告など道総研とのコミュニケーションはいかがでしたか？】



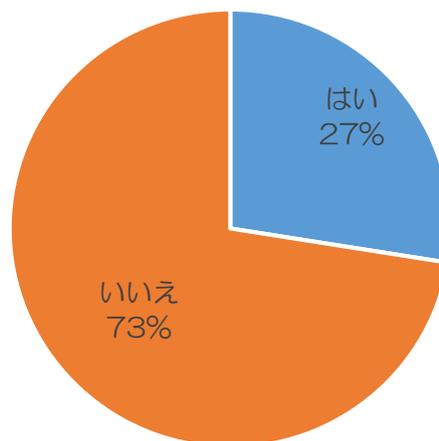
- 「満足である」が87%（35機関）であった。
- 「概ね満足であるが改善すべき点がある」が7%（3機関）であった。
- 「不満である」が3%（1件）であった。
- 「(回答なし)」が3%（1件）であった。

【問6 今後も、道総研の研究機関と共同研究・受託研究を実施したいと思いますか？】



- 「実施したい」が65%（26機関）であった。「必要があれば実施したい」32%（13機関）とあわせると97%（39機関）となる。
- 「実施したいとは思わない」は0件であった。

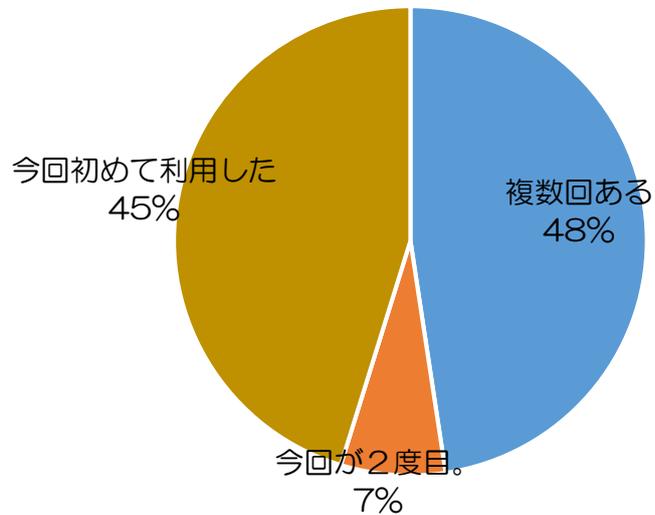
【問7 道総研の研究機関と共同研究・受託研究について他の方にご紹介されたことはありますか。あるいは興味を持っている方はいらっしゃいますか。】



- 「いいえ」が73%（29機関）であった。
- 「はい」が27%（11件）であった。

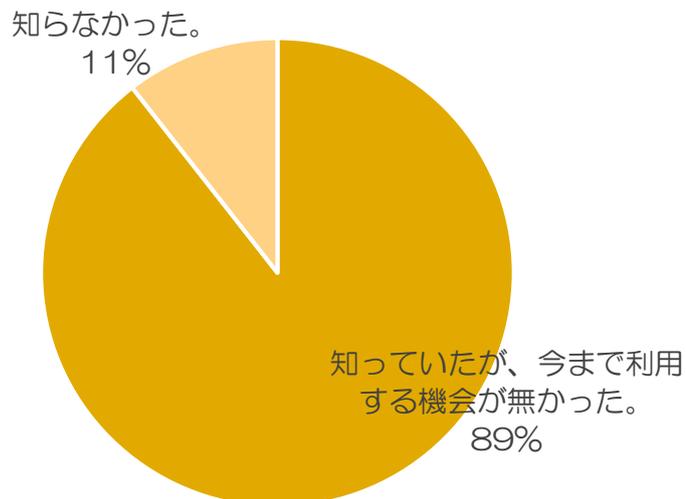
### 3. 利用者意見把握調査（技術支援制度）

【問1 今までも、道総研の技術支援制度を利用したことがありますか？】



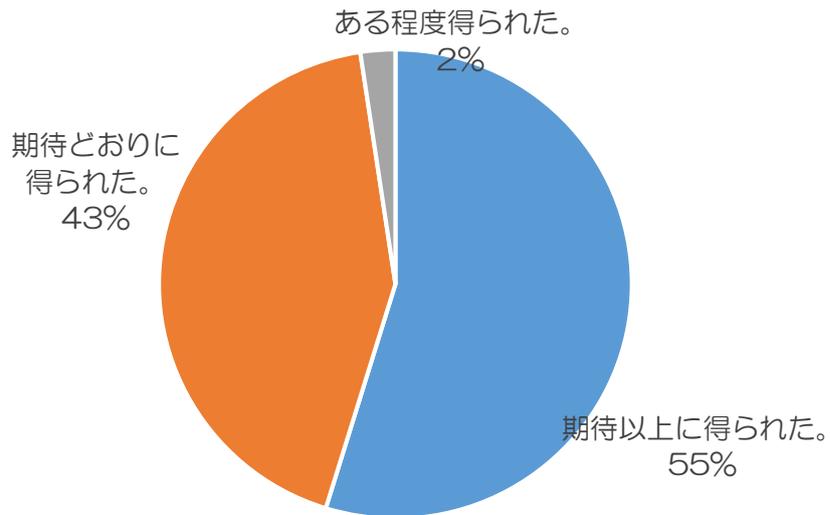
- 「今回初めて利用した」が45%（19件）であった。
- 「今回が2度目」が7%（3件）、「複数回ある」が48%（20件）であった。

【問2 今回初めて利用された方は、以前から道総研をご存じでしたか？】



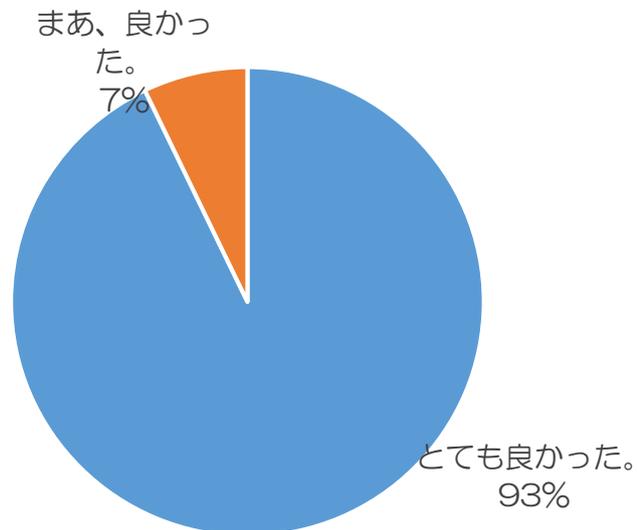
- 「知っていたが、今まで利用する機会が無かった」が89%（17件）であった。
- 「知らなかった」が11%（2件）であった。

【問3 今回の技術支援につきまして、満足のいく支援が得られたと思いますか？】



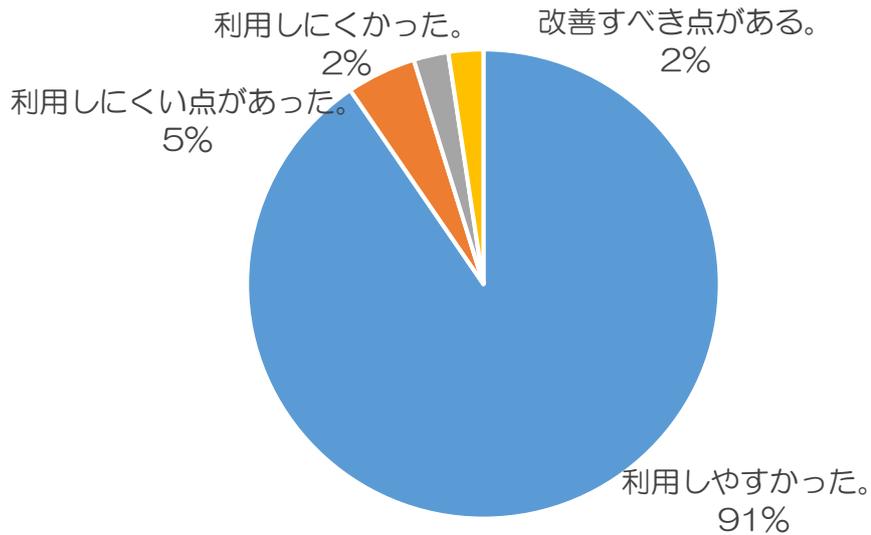
- 「期待以上に得られた」が55%（23件）、「期待通りに得られた」が43%（18件）、「ある程度得られた」が2%（1件）であった。
- 「あまり得られなかった」「得られなかった」との回答はなかった。

【問4 職員の対応はいかがでしたか？】



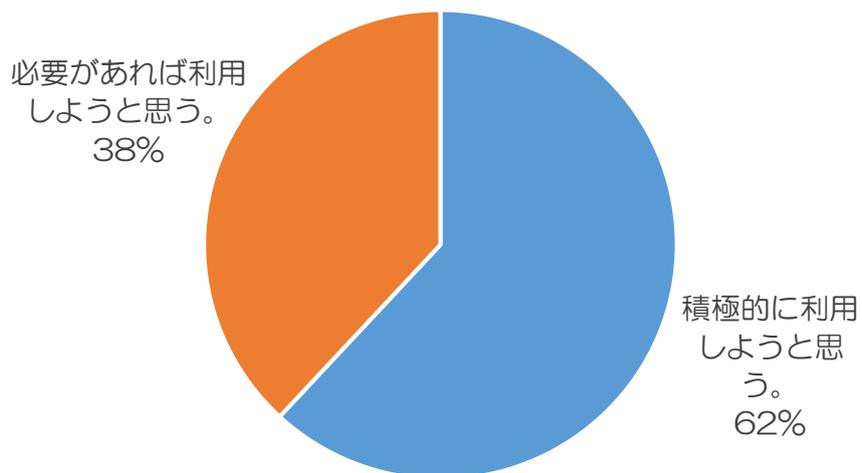
- 「とても良かった」が93%（39件）、「まあ、良かった」が7%（3件）であった。
- 「普通だった」「あまり良くなかった」「良くなかった」との回答はなかった。

【問5 技術支援につきまして、手続き等、利用しやすさはいかがでしたか？】



- 「とても良かった」が91%（38件）であった。
- 「利用しにくい点があった」が5%（2件）、「利用しにくかった」が2%（1件）、「改善すべき点がある」2%（1件）であった。
- 内訳としては、「手続きの煩雑さ」が2件、「手続きにかかる時間」が1件、「相談する部署が分かりにくい」が1件であった。

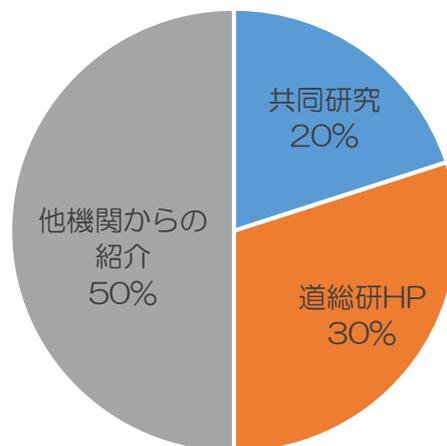
【問6 今後も、道総研を利用しようと思いますか？】



- 「積極的に利用しようと思う」が62%（26件）、「必要があれば利用しようと思う」が38%（16件）であった。
- 「あまり利用しようと思わない」「多分利用しないと思う」との回答はなかった。

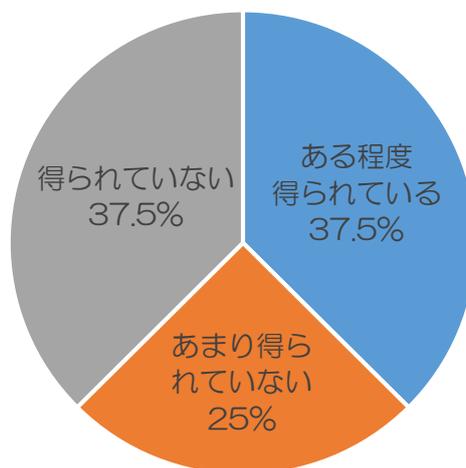
#### 4. 利用者意見把握調査（知的財産）

【問1 現在ご利用の知的財産権はどのように知りましたか（新規契約先）】



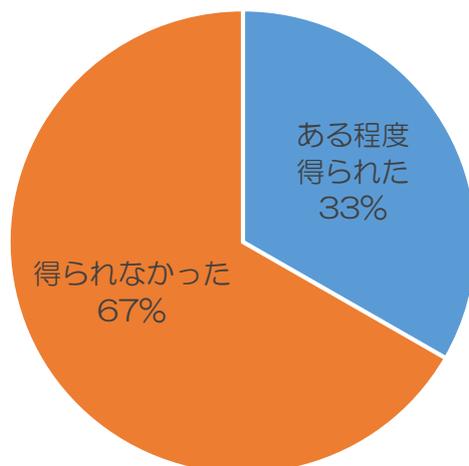
- 「他機関からの紹介」が50%（5件）であった。
- 次いで、「道総研HP」が30%（3件）、「共同研究」が20%（2件）であった。

【問2 知的財産を利用して満足いく成果が得られていますか（新規契約先）】



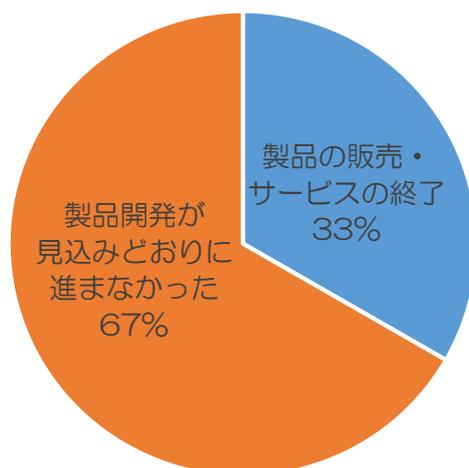
- 「得られていない」が37.5%（3件）であった。
- 次いで、「あまり得られていない」が25%（2件）、「ある程度得られている」が37.5%（3件）であった。

【問3 知的財産権を利用して満足いく成果が得られましたか（契約満了先）】



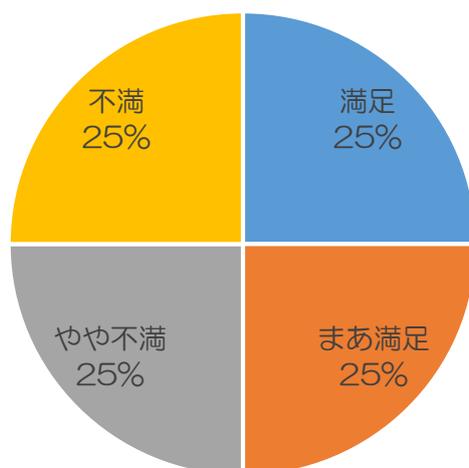
- 「得られなかった」が67%（2件）であった。
- 次いで、「ある程度得られた」が33%（1件）であった。

【問4 契約満了となった実施契約について、契約を更新しなかった理由を教えてください（契約満了先）】



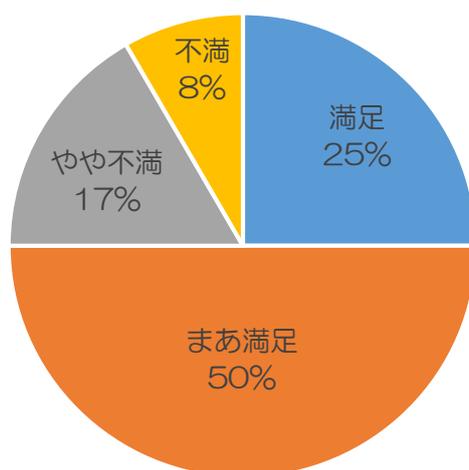
- 「製品開発が見込みどおりに進まなかった」が67%（2件）であった。
- 次いで、「製品の販売・サービスの終了」が33%（1件）であった。

【問5 実施契約に関する事務について（1）手続の進め方(打ち合わせなど)について】



○ 「満足」、「まあ満足」、「やや不満」、「不満」それぞれの項目で25%（3件）であった。

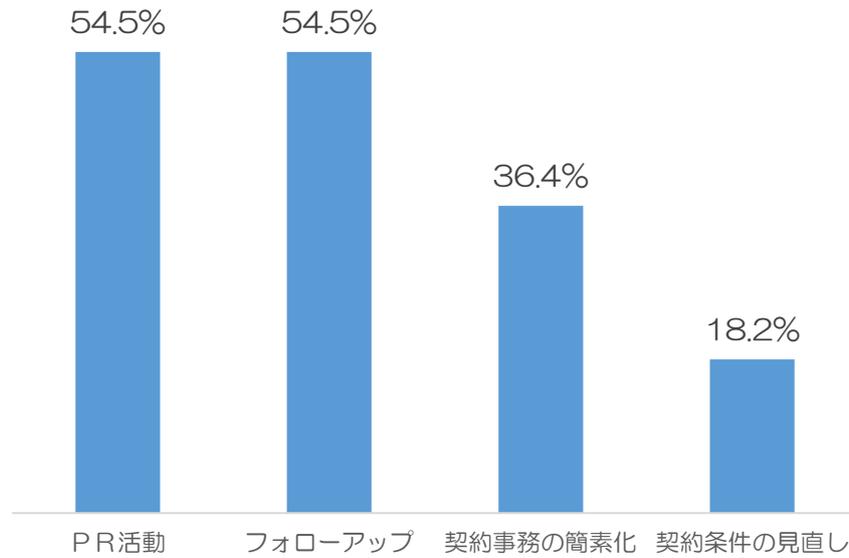
【問6 実施契約に関する事務について（2）契約条件について】



○ 「まあ満足」が50%（6件）であった。

○ 次いで、「満足」が25%（3件）、「やや不満」が17%（2件）であった。

【問7 道総研が保有する知的財産について、より利用しやすいものにするためには、何が必要だと思われますか（複数回答可）】



- 「PR活動」及び「フォローアップ」が54.5%（6件）であった。
- 次いで、「契約事務の簡素化」が36.4%（4件）、「契約条件の見直し」が18.2%（2件）であった。